



光星 初戦突破

延長決着明石商に9-8

夏の甲子園

甲子園球場(兵庫県西宮市)を舞台に行われている第100回全国高校野球

球選手権大会は第7日の11日、第2試合で青森県代表の八学光星が初戦を迎え、明石商(西兵庫)と対戦。9-8で延長戦を制し、2回戦に駒を進めた。(取材班)

2年ぶり9度目の出場となった光星は初回、主砲の東健太郎の右越え本塁打で2点を先制。相手の粘りで七回に8-8の同点に追い付かれたものの、延長十

回、救援した3番手の中村優惟が左前に放った安打が敵失を誘い、勝ち越した。次戦は大会第11日の第4

【八学光星―明石商】10回八学光星2死1、一塁、中村優惟が左前打を放ち、明石商左翼手の失策が絡んで決勝点が入る―甲子園

試合(15日午後3時半開始予定)で、龍谷大平安(京都)と対戦する。八戸学院光星・仲井監督「よく粘った。一度も勝ち越しを許さなかったのが要因」
八戸学院光星・長南主将「打撃で自分の力を出せなかったが、チームが勝てばいい」